

森歩き



— 大人も子供も。季節の恵みを一緒に味わい愛でる一日 —

北本の森を歩く

北本市内には、多くの自然が残っています。市の西側を流れる荒川から、まちの中心部に向かって、多様な生き物が暮らす里山エリア、人と緑が混じり合う雑木林エリア、人の営みの中に緑が残る街ナカエリアへと、緩やかな緑のグラデーションを描いています。そして、自然と人の営みが織りなす北本の自然には、驚くほど多様な動植物が暮らしています。北本の森には、ストレスを解消してくれる効果があります。木々や草花、森に暮らす様々な生き物との出会いが、気持ちを優しくほぐしてくれるのです。その効果が科学的に認められ、北本は市内全域が埼玉県初の森林セラピー基地に認定されています。その中でも、本格的な森林ウォークが体験できるのが、北本自然観察公園です。生き物が暮らしやすい様に整備された33ヘクタールの園内は、夏にはハイケボタルが飛び交い、冬にはたくさんの野鳥が集うなど、貴重な野生動植物の住処となっています。



秋の森を探検する

11月27日「&green暮らしの学校」が開催され、約15名の参加者が、北本自然観察公園に集まりました。今回のテーマは「秋の森を探検する」。森林セラピーガイドと一緒に森を歩き、秋の気配を探します。参加者の半数は小学生以下の子供たち。

森林セラピーの特徴は、ガイドと一緒に森をめぐることにあります。この日は、ガイドのお姉さんお手製の新聞紙バッグを、参加者へプレゼント。「どんぐりを見つけたら教えてね」子供たちは、バッグを片手に探検へと出発します。ガイドは、森と人をつなぐ通訳者として、様々な気付きを私たちにもたらしてくれます。